

短 報

キンキマメザクラを三重県から記録する

人間環境大学 藤 井 伸 二
三重県立北星高等学校 市 川 正 人

New record of *Prunus incisa* var. *kinkiensis* from Mie Prefecture. Shinji Fujii (University of Human Environments) and Masato Ichikawa (Hokusei High School)

Prunus incisa var. *kinkiensis* was found at Mt. Fujiwara in Suzuka Mountains. It was known to grow at the west side of the mountains in Shiga Prefecture, however, the distribution at the east side of the mountains in Mie Prefecture was new finding.

Keywords : Mie Prefecture, New locality, *Prunus incisa* var. *kinkiensis*, Suzuka Mountains

要旨：鈴鹿山脈藤原岳におけるキンキマメザクラの生育を見いだした。これまで本種の鈴鹿山脈の滋賀県側での分布は知られていたが、三重県側での分布は未記録であったのでここに報告する。

キーワード：三重県、新産、キンキマメザクラ、鈴鹿山脈

キンキマメザクラ *Prunus incisa* Thunb. var. *kinkiensis* (Koidz.) Ohwi (バラ科) は北陸 (富山, 石川, 福井), 近畿北部, 山陰およびそれらの隣接地域 (長野南部, 岐阜) に生育し (北村・村田, 1979; 大橋ほか, 1989; 村田, 1972; 大原, 2009), 飛び離れた分布が愛知県設楽町に知られている (南川, 1995; 清水, 1997; 大原, 2009)。従来は未記録だった三重県における産地を見いだしたので報告する。

キンキマメザクラを発見したのは、鈴鹿山脈北部に位置する藤原岳の孫太尾根 (三重県いなべ市北勢町) である (図1)。これまでの周辺地域の既知産地としては、鈴鹿山脈の御池岳 (滋賀県多賀町) と霊仙山南西麓の河内 (同町) が知られており、さらに鈴鹿山脈の北に位置する伊吹山 (滋賀県伊吹町) にも分布する (北村, 1968; 若狭ほか, 2005)。これらのことから鈴鹿山脈の三重県側にもキンキマメザクラの生育することが充分に予見

され、いくつかのアセスメント調査報告書等^①にはすでにキンキマメザクラの名前が挙がっていたが、同定の真偽が不明で正式な形での報告はなされていない。今回発見された孫太尾根の自生地は、標高約450~650mの北東斜面の石灰岩が露出した小さな尾根地形 (メッシュコード52365377) で、樹高約3mの個体が約10株生育していた。最大の個体は根元直径が8cmに達していた。付近に生育する高木はイヌブナ *Fagus japonica* Maxim., ミズナラ *Quercus crispula* Blume, クマシデ *Carpinus japonica* Blume, サワシバ *C. cordata* Blume, ヤマトアオダモ *Fraxinus longicuspis* Siebold et Zucc. など、低木種のヒメウツギ *Deutzia gracilis* Siebold et Zucc., ヤブサンザシ *Ribes fasciculatum* Siebold et Zucc., イブキシモツケ *Spiraea dasyantha* Bunge, カジカエデ *Acer diabolicum* Blume ex K.Koch, ハシドイ *Syringa reticulata* (Blume) H.Hara, イワツクバネウツギ

Zabelia integrifolia (Koidz.) Makino ex Ikuse et S.Kuros., ナガバノコウヤボウキ *Pertya glabrescens* Sch.Bip. などの生育が特筆される。

藤原岳における発見を機に、近畿地方およびその周辺におけるキンキマメザクラの分布を京都大学総合博物館 (KYO) と大阪市立自然史博物館 (OSA) 所蔵の標本および文献記録を元に精査した。その結果、近畿地方における本種の分布南限域は京都市左京区の比叡山と滋賀・三重県境の鈴鹿山脈 (藤原岳・霊仙山・御池岳) であることが明らかになった。また、本種は滋賀県ではごく普通だが、岐阜県では滋賀県や福井県との県境付近にのみ分布し、岐阜・三重県境の養老山地では記録がない。集積された標本点数からは、伊吹山

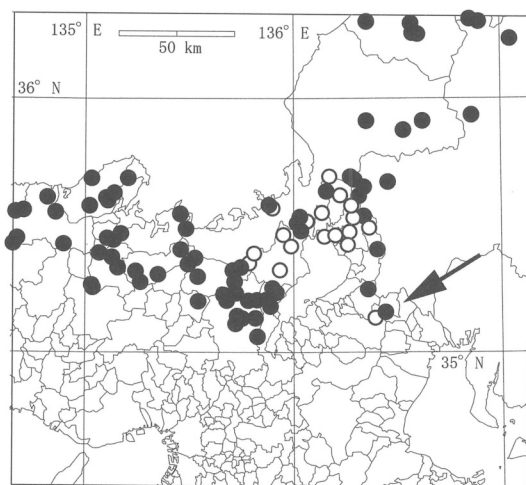


Fig.1. Distribution of *Prunus incisa* var. *kinkiensis* in northern Kinki district and its adjacent regions. ●: based on herbarium specimens in KYO and OSA, ○: based on Watanabe (2003) and Wakasa et al. (2005). An arrow shows the new locality in Mie Prefecture. Localities in Osaka Prefecture are not shown (see text).

と鈴鹿山脈では稀あるいは生育場所が非常に限られていることが伺えた。

伊吹山地と鈴鹿山脈の植物地理について研究した福岡 (1965) は、この地域において日本海要素の植物種数が太平洋側に向かって漸進的に減少することを述べている。また、鈴鹿山脈まで分布を南下させている日本海要素の例として、ボタンネコノメソウ *Chrysosplenium kiotoense* Ohwi, エゾユズリハ *Daphniphyllum macropodum* Miq. subsp. *humile* (Maxim. ex Franch. et Sav.) Hurus., ヒメモチ *Ilex leucoclada* (Maxim.) Makino, オオコメツツジ *Rhododendron tschonoskii* Maxim. subsp. *trinerve* (Franch. ex H.Boissieu) Kitam., デワノタツナミソウ *Scutellaria muramatsui* H. Hara, チョウジギク *Arnica mallotopus* Makino, オオカニコウモリ *Parasenecio nikomontanus* (Matsum.) H.Koyama, サワアザミ *Cirsium yezoense* (Maxim.) Makino, キンコウカ *Narthecium asiaticum* Maxim., ホソバカンスゲ *Carex temnolepis* Franch. を挙げている (福岡, 1965)。愛知県設楽町に隔離分布地を持つキンキマメザクラを日本海要素と考えるかどうかについてはさらなる検討が必要だが、分布型の上では鈴鹿山脈まで南下する日本海側型と理解してよいだろう。

なお、大阪府からは桑島 (1990) が池田市池田、豊中市宮山、河内長野市岩湧山の3産地を記録している。大阪市立自然史博物館収蔵の当該標本はすべて sterile condition であった。葉形態に関してはいずれもキンキマメザクラとして問題ないと思われたが、池田と宮山は市街地または住宅地であることから、植栽起源のキンキマメザクラあるいはコヒガンザクラ *Prunus subhirtella* Miq. のようなマメザクラ類を母種とする交雑種の可能性が高い。今回の標本調査において京都府亀岡地域および大阪府能勢地域のキンキマメザクラの確実な自生標本を見いだすことはできなかったこと

も、池田と宮山のものが植栽起源であることを示唆する。岩湧山の記録については、分布があまりにも飛び離れていることから、真に自生のものか疑わしい。以上のことから、池田、宮山、岩湧山の3産地は図1に示さなかった。

現在、藤原岳の孫太尾根では土石採掘が行われており、さらに石灰岩の採掘がキンキマメザクラの自生地まで拡張される計画である。このまま採掘が進めば、貴重な自生地が失われることになる。

本研究を進めるにあたり、大阪市立自然史博物館（現岡山大学教育学部）の内貴章世氏と京都大学総合博物館の永益英敏氏には標本閲覧と文献調査のお世話になりました。記して感謝します。

注）桑名市の記録：播磨特定土地区画整理事業（仮称）環境影響評価（1990年）、いなべ市の記録：（仮称）水谷ゴルフクラブ建設に関わる環境影響評価（1990年）、菰野町の記録（1959年）：三重県種の多様性調査データ。いずれも公表はされていない。

引用文献

- 福岡誠行. 1965. 伊吹・鈴鹿山脈の植物地理. 植物分類地理, 21: 133-140.
- 北村四郎（編）. 1968. 滋賀県植物誌. 362pp. 保育社, 大阪.
- ・村田 源. 1979. 原色日本植物図鑑・木本編II. 545pp. 保育社, 大阪.
- 桑島正二. 1990. 大阪府植物目録. 197pp. 近畿植物同好会, 柏原.
- 南川 幸（編）. 1995. 愛知県の植物相. 328pp. 愛知県, 名古屋.
- 村田 源. 1972. 近畿地方植物誌16. 兵庫生物, 6: 256-259.
- 大原隆明. 2009. サクラハンドブック. 88pp. 文一総合出版, 東京.
- 大橋広好・靱山泰一・大場秀章. 1989. サクラ属. 「日本の野生植物木本I」（佐竹義輔・原寛・亘理俊二・富成忠夫編）, pp.186-198. 平凡社, 東京.
- 清水健美（監修）. 1997. 長野県植物誌. 1700pp. 信濃毎日新聞社, 長野.
- 若狭善弘・布谷知夫・村瀬忠義（編）. 2005. 琵琶湖博物館資料目録第12号植物標本5 村瀬忠義植物標本目録離弁花類. 461pp. 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津.
- 渡辺定路. 2003. 改訂増補福井県植物誌. 516pp. 福井新聞社, 福井.
- 証拠標本：三重県いなべ市北勢町藤原岳 孫太尾根；May 3, 2003, M. Ichikawa 2005（三重県立博物館）；April 29, 2005, M. Ichikawa 9126-9128（O S A）& 9129-9133（三重県立博物館）；April 12, 2007, M. Ichikawa 9992（O S A）& 9993（三重県立博物館）.

